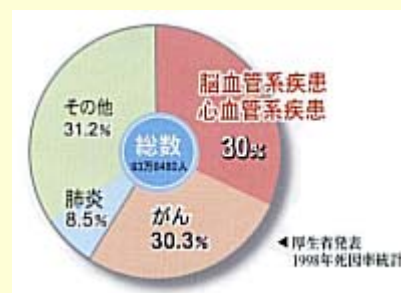


動脈硬化検査のご案内

わずかな時間で簡単にあなたの血管の状態が分かります

動脈硬化をご存知ですか？

日本の3大死因は「がん」「脳血管疾患」「心疾患」です。なかでも脳血管疾患と心疾患は、いずれも血管の壁が厚くなって弾力性が失われ、血管が劣化したり狭くなってしまふ「動脈硬化」が原因です。



動脈硬化は、加齢によって誰にでも起こりますが個人差が大きく、その進展には食生活や運動不足などの生活習慣が大きく関連しています。大変な病気にかからないためには、早期発見が最大の秘訣です。

動脈硬化度を測定しましょう

どうやって測定するの？

実際の測定にかかる時間はわずか5分程度です。

検査は、血圧を測るのと同じくらい気軽に受けられます。両手、両足首4箇所血圧を同時に測定するだけなので、ほとんど痛みはありません。薄手の服でならそのまま測定できます。



何で分かるの？

PWV(脈波伝播速度)

心臓から押し出された血液により生じた拍動が、血管を通じて手や足に届くまでの速度のことで、脈波伝播速度と呼ばれます。血管が硬いほど、その速度は早くなります。



ABI(手首と足首の血圧比)

手首と足首の血圧の比を測定することで血管の狭さの程度が分かります。健康な人の場合、足首血圧は手首血圧より高いのが普通ですが、足の動脈が脂質などで詰まったりすると、血流が悪くなり手首血圧より低くなり、ABIの値が低くなります。



(当院では、頰動脈エコーも実施しております)